

「課題名：障害者歯科の患者高齢化に対する調査」

○ 研究の意義・目的

本邦では高齢化率(全人口に対する65歳以上人口の割合)が25%を超え、現在も高齢化が進んでいます。高齢患者さんでは、歯科治療時のストレスなどが原因で循環器イベントを引き起こす可能性があります。加えて、当科受診患者さんにおいては、様々な全身疾患を有していることが多いため、高齢者の方同様に歯科治療時の配慮が必要になってきます。また、患者さんの高齢化に伴い、受診に同伴している保護者の方も高齢となるため、通院に付き添うことができずに通院困難となることが予想されます。そこで、当科外来患者さんの診療録から、患者さんの受診状況、外来での対応等をまとめるとともに、通院困難となった患者さんに対してその理由を調査します。

○ 研究対象者

2006年4月以降で本院障害者歯科に通院経験がある患者さんで、医療の質の確保、向上を目的として実施したアンケートに回答を得られた患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、アンケート、診療録(カルテ)情報を転記して行います。カルテから転記する内容は年齢、性別、障害の種類及び基礎疾患です。
(個人が特定出来る情報は転記しません)

○ 研究期間 実施許可日 ~ 2029年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生じることはありません。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5788

広島大学病院 口腔健康発育歯科(障害者歯科) 教授
助教
医員

岡田 芳幸(研究責任者)
吉田 結梨子(担当者)
清水 千昌(担当者)
朝比奈 滉直(担当者)
藤原 里依子(担当者)
宮崎 裕則(担当者)